

土木計画学 50 周年記念シンポジウム 企画趣旨

土木計画学研究委員会は、「土木技術者の活動範囲において、土木に関する計画の分野がきわめて重要な事態に鑑み、土木計画のあるべき姿、その問題点を検討し、あわせて計画に関する調査、研究を行うこと」を目的として昭和 41（1966）年に設立され、今日に至っています。以降、社会基盤整備とその需要予測や費用便益分析、景観デザイン、まちづくりとその合意形成に関する活動等の幅広い分野において、理念や方法・手順の研究とその社会実装としての実践を行ってきました。

今年土木計画学研究委員会が設立されてから 50 周年となる記念すべき節目となる年です。そこで、土木計画学 50 周年を記念し、土木計画学の未来を考える 50 周年記念シンポジウムを開催致します。開催にあたって、土木計画学 50 周年記念事業実行委員会（委員長：桑原雅夫、副委員長：久保田尚）を設立し、「土木計画学の未来～理論に基づく実践、現場に根ざした理論～」をテーマとして、土木計画学の理論と実践のかたちを辿り、語り合い、描くことで、土木計画学のこれからの皆さまとともに考える機会とします。

プログラム

第1部：「迎る」

10:00～10:05 開会の辞 桑原雅夫(東北大学教授、土木計画学 50 周年記念事業委員長)

10:05～10:10 挨拶 田代民治(土木学会会長)

10:10～10:50 基調講演：Smart Mobility: Optimization and Behavioral Modeling

Moshe Ben-Akiva (マサチューセッツ工科大学教授)

10:50～11:20 委員長講演：これまでの土木計画学-土木学会 100 周年を超えて-

屋井 鉄雄 (東京工業大学教授)

11:30～12:15 社会の中での土木計画学のあり方

パネルディスカッション司会：久保田 尚 (埼玉大学教授)

パネリスト：森 昌文 (国土交通省 技監)

中井 雅彦 (JR 東日本 常務取締役)

藤井 聡 (京都大学教授)

第2部：「語らう」

13:30～13:55 土木計画学の成果と課題 森地 茂 (政策研究大学院大学教授)

13:55～14:20 戦略的まちづくりの時代 内藤 廣 (建築家・東京大学名誉教授)

14:30～14:55 土木計画学を取り巻く環境と未来 小林 潔司 (京都大学教授)

14:55～15:20 国際的視点と実践・リサーチ 藤野 陽三 (横浜国立大学上席特別教授)

第3部：「描く」 若手特命チーム企画

15:40～15:50 本セッションの企画意図と土木計画学の現状認識 若手特命チーム

15:50～16:05 理論-実践の両輪をめざして 力石 真 (広島大学特任准教授)

16:05～16:20 理論-実践の両輪をめざして 松田 曜子 (長岡技科大学准教授)

16:20～16:35 理論-実践の両輪をめざして 瀬谷 創 (神戸大学准教授)

16:35～16:50 理論-実践の両輪をめざして 若手特命チーム

若手特命チーム (塚井 誠人 (広島大学准教授)・大西 正光 (京都大学准教授)・

山口 敬太 (京都大学助教)・原 祐輔 (東北大学助教))

16:50～17:50 パネルディスカッション

パネリスト：赤松 隆 (東北大学教授)

多々納 裕一 (京都大学教授)

上記プレゼンター

17:50～18:00 閉会の辞 屋井 鉄雄 (土木計画学研究委員会委員長)